

製品名: 切断型 MMP-17 (Q129) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09013**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	MMP17
別名	MMP17; MT4MMP; Matrix metalloproteinase-17; MMP-17; Membrane-type matrix metalloproteinase 4; MT-MMP 4; MTMMP4; Membrane-type-4 matrix metalloproteinase; MT4-MMP; MT4MMP
遺伝子 ID	4326.0
SwissProt ID	Q9ULZ9
免疫原	抗血清はヒト MMP17 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 110-159

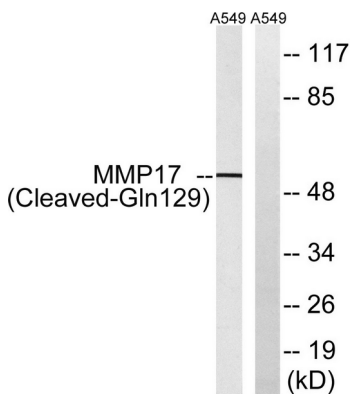
背景

この遺伝子は、ペプチダーゼ M10 ファミリーおよびマトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) の膜型サブファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、ならびに関節炎や転移などの疾患プロセスにおける細胞外マトリックスの分解に関与しています。このサブファミリーのメンバーは膜貫通ドメインを含むため、これらのタンパク質は分泌型ではなく細胞表面で発現していることが示唆されます。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成します。このタンパク質は、膜型マトリックスメタロプロテアーゼの中で、グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) アンカーを介して細胞膜に固定されているという点で独特です。コードされているタンパク質の発現上昇は、変形性関節症および複数のヒト癌で観察されています。 [RefSeq 提供、2016 年 1 月],触媒活性: プロ TNF- α を 74-Ala-|-Gln-75 部位で切断する。補因子: サブユニットあたり 1 つの亜鉛イオンと結合する。補因子: カルシウム。ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離し、酵素が活性化される。機能: フィブリンなどの細胞外マトリックスの様々な成分を分解するエンドペプチダーゼ。腫瘍壊死因子 α などの増殖因子または炎症性メディエーターの膜結合前駆体の活性化に関与している可能性がある。また、腫瘍形成プロセスにも関与している可能性がある。プロセラチナーゼ A をタンパク質分解的に活性化できるかどうかは明らかではない。I 型、II 型、III 型、IV 型、V 型コラーゲン、ゼラチン、フィブロネクチン、ラミニン、デコリン、 α 1-アンチトリプシンは加水分解しない。PTM: 前駆体はフォーリンエンドペプチダーゼによって切断される。類似性: ペプチダーゼ M10A ファミリーに属する。類似性: 4 つのヘモペキシン様ドメインを含む。組織特異性: 脳、白血球、結腸、卵巣、精巣、乳がんが発現する。また、多くの形質転換細胞および非形質転換細胞にも発現する。、

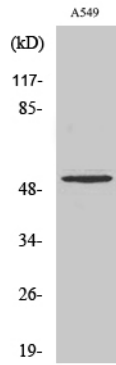
研究分野

血管新生

画像データ



エトポシド 25 μ M で 1 時間処理した A549 細胞ライセートの MMP17 (Cleaved-Gln129) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Cleaved-MMP-17 (Q129) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析